

DiDi 処罰決定と中国データ法制の運用

○王威駟 Weisi WANG

Keywords : プラットフォーム規制、データセキュリティ法、データ越境移転、中国データ法制

1 目的

本研究の目的は、2022年7月の中国サイバー規制当局による中国配車アプリ大手 DiDi への処罰決定を材料として、中国データ法制（「サイバーセキュリティ法」、「データ安全法」、「個人情報保護法」、2022年9月施行された「データ越境セキュリティ審査弁法」）の特徴とを検討した上で、中国政府が唱えているサイバー主権論、いわゆる「デジタルレーニン主義」などの論点を照らして中国データ法制運用思想・中国のデータ越境移転に対する考え方を明らかにすることである。

2 方法

本研究の調査・分析方法は事例研究（ケーススタディ）と文献研究である。具体的には、事例研究について、過去の DiDi に対する企業結合審査、今回の DiDi 処罰決定の背景・結果を検討してプラットフォーム規制という枠組みで中国規制アプローチの変化を考える。文献研究について、研究者のサイバー主権論と中国データ法制全体に対する論考、いわゆる「デジタルレーニン主義」の由来の意義と解説を研究する。

3 結果

調査・分析の結果は、残された課題・不明瞭なところがあるものの、DiDi 処罰決定は中国データ法制の運用を研究する重要な材料であり、中国規制当局の法執行姿勢を示すものでもある。運用思想について、プラットフォーム企業・政府（国）・市民との利益バランスの関係もデータ法制の運用で重視されており、コーポラティズム（もしくは国家コーポラティズム）の特徴が見られる。

4 結論

以上により、中国のデータ法制を研究するには法条文だけでなく、規制当局の国家安全に対する考え方・米中関係の影響を考慮しなければならない。また、コーポラティズム（プラットフォーム企業・政府（国）・市民との利益バランス）の視点も、中国データ法制の運用思想を明らかにするには重要である。

【主要参考文献】

崔文英、DIDI 処罰事件から見る中国のサイバーセキュリティ審査制度

Erie, Matthew Steven and Streinz, Thomas, The Beijing Effect: China's 'Digital Silk Road' as Transnational Data Governance (February 3, 2022). 54 N.Y.U. J. Int'l L. & Pol. 1 (2021), Available at SSRN: <https://ssrn.com/abstract=3810256>

Creemers, Rogier, China's Cybersecurity Regime: Securing the Smart State (March 30, 2022).

Creemers, Rogier, China's Conception of Cyber Sovereignty: Rhetoric and Realization (February 5, 2020). Creemers R. J. E. H. (2020), China's conception of cyber sovereignty: rhetoric and realization. In: Broeders D. & Berg B. van den (Eds.) Governing Cyberspace: Behavior, Power, and Diplomacy. Digital Technologies and Global Politics Lanham: Rowman & Littlefield. 107-142.